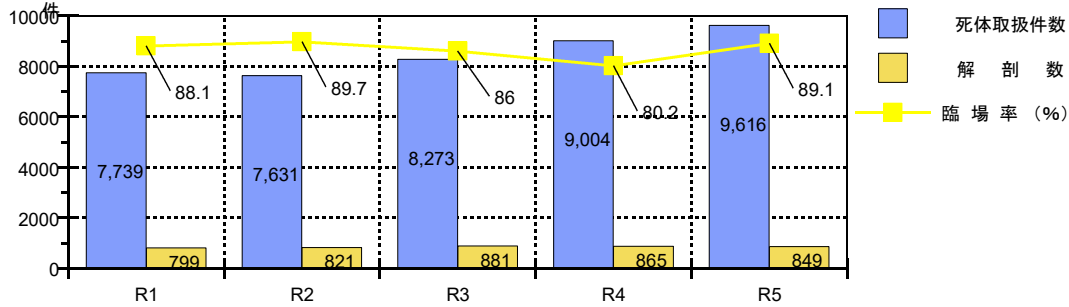


第10 犯罪情勢と捜査活動

1 犯罪死の見逃し防止への取組

北海道警察では、適正な死体取扱業務を推進して犯罪死を見逃さないよう積極的に検視官を臨場させ、死体取扱業務に携わる警察官に対する教育訓練の充実を図っています。

【死体取扱件数及び解剖数】



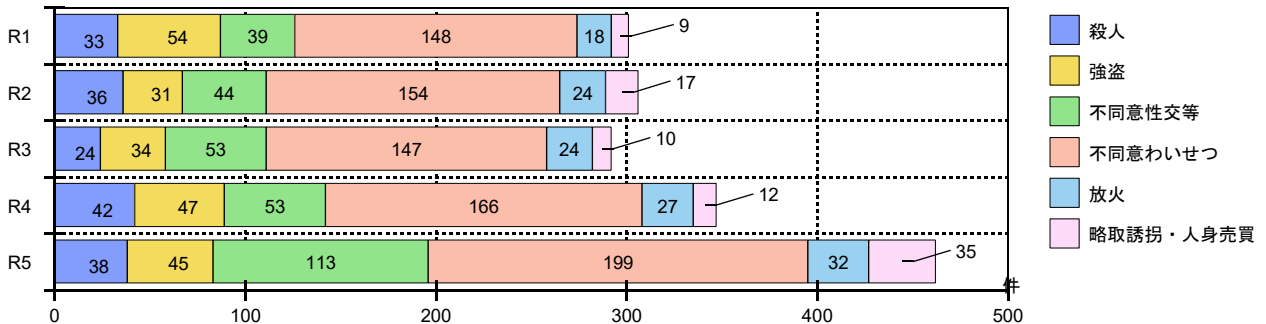
2 重要犯罪、重要窃盗犯の検挙状況

(1) 重要犯罪

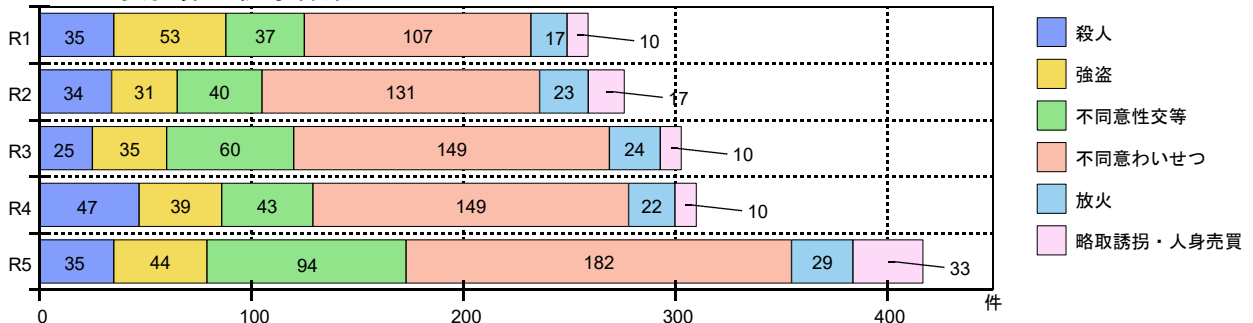
令和5年中の道内における重要犯罪（殺人、強盗、不同意性交等、不同意わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買）の認知件数は462件で、前年に比べて115件（33.1%）増加し、検挙件数は417件で、前年に比べて107件（34.5%）増加しました。

初動捜査を徹底するため、捜査員を迅速に大量投入して緊急配備や聞込み捜査、防犯カメラ画像の収集、解析等を徹底するなど、道民の皆様の御協力をいただきながら早期解決に努めています。

重要犯罪の認知件数



重要犯罪の検挙件数



(2) 令和5年中の主な重要犯罪の検挙事例

《事例1》釧路市内における女性被害殺人事件を検挙

令和5年5月、釧路市内の共同住宅において発生した女性教諭被害の殺人事件で、知人となる男を検挙しました。

(釧路署、釧路方面本部捜査課)

《事例2》札幌市中央区ホテル内における男性被害殺人・死体遺棄事件を検挙

令和5年7月、札幌市中央区の繁華街のホテル内において発生した男性被害の殺人、死体遺棄等事件で、無職の女とその親族を検挙しました。

(中央署、捜査第一課)

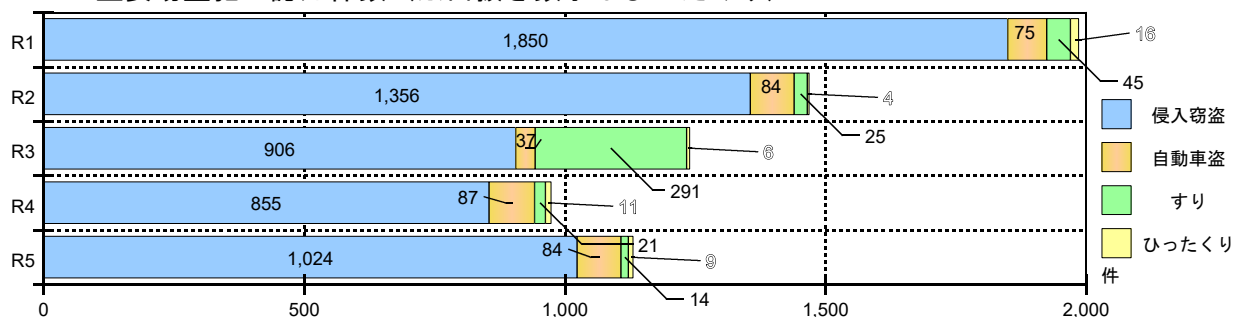
(3) 重要窃盗犯

令和5年中の道内における重要窃盗犯（侵入窃盗、自動車盗、すり及びひったくり）の認知件数は1,131件で、前年に比べて157件（16.1%）増加し、検挙件数は761件で、前年に比べて81件（11.9%）増加しました。

重要窃盗犯は道民に最も身近な犯罪の一つであることから、初動捜査の徹底や各警察署の情報共有、合・共同捜査等を積極的に推進するとともに、道民の皆様から不審者に関する通報等の御協力をいただきながら事件検挙に努めています。

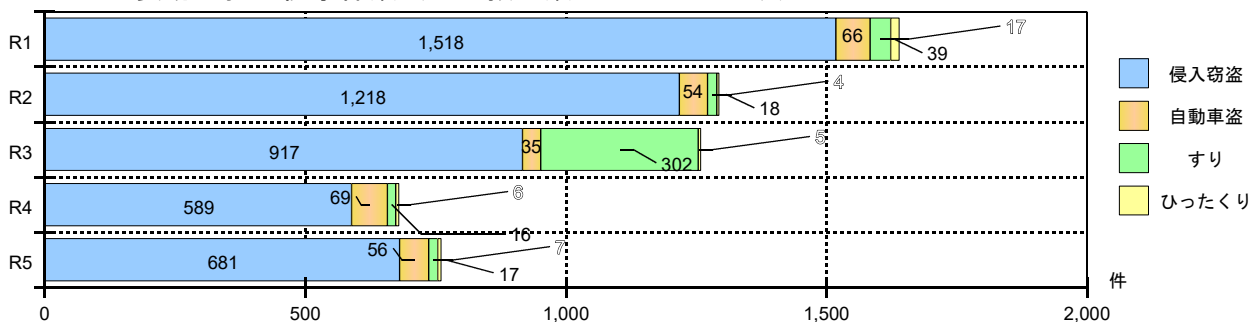
表示文字列

重要窃盗犯の認知件数（※白抜き数字はひったくり）



表示文字列

重要窃盗犯の検挙件数（※白抜き数字はひったくり）



(4) 令和5年中の主な重要窃盗犯の検挙事例

《事例1》札幌市内及び近郊における連続金庫破り事件

令和4年9月から札幌市内及び近郊で連続発生した金庫破り、事務所荒し事件で、令和5年1月に無職の男を検挙しました。

(豊平署・東署・北署・白石署・捜査第三課)

《事例2》準暴力団密接交際者を首魁とした連続組織窃盗事件

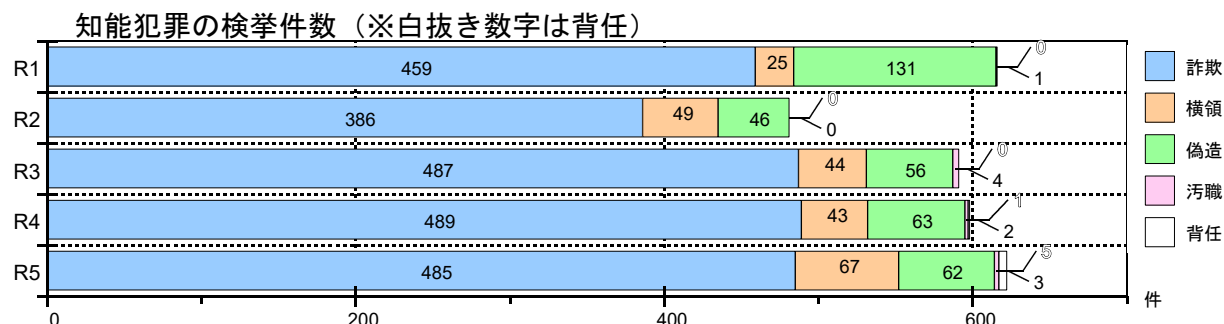
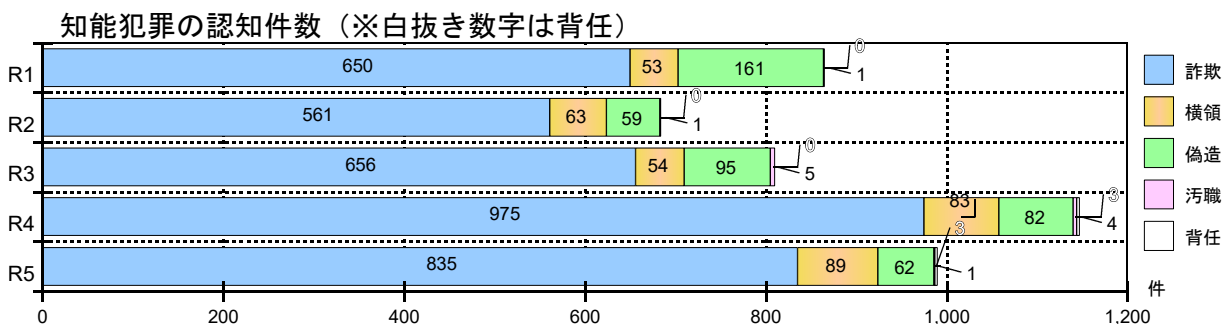
令和5年1月、札幌市内において一夜にして連続発生していた金庫破り、出店荒し事件で、準暴力団密接交際者である首魁の男を含む7名を検挙しました。

(北署・中央署・捜査第三課)

3 知能犯罪の検挙状況

令和5年中の道内における知能犯罪の認知件数（特殊詐欺を含む。）は990件で、前年に比べて157件（13.7%）減少し、検挙件数は622件で、前年に比べて24件（4.0%）増加しました。

重要知能犯事件（贈収賄、選挙、経済的不正）は、道民の生活に密接した犯罪であることから、今後も、情報収集をはじめ、被疑者検挙に向けた捜査に努めていきます。



○令和5年中の主な検挙事例

《事例1》KKR札幌医療センター事務部長らによる敷地内保険調剤薬局整備運営事業をめぐる公契約関係競売入札妨害事件

KKR札幌医療センターが進めていた「敷地内保険調剤薬局整備運営事業」における事業者選定に関し、同センター事務部長が特定の事業者により優先交渉権を得させるため、同社に競合他社の提案価格等を教示し、他社を上回る好条件の企画提案書を提出させ、公の入札を害した事実を特定したため、同センター事務部長及び優先交渉権を獲得した事業者幹部2名を公契約関係競売入札妨害の事実で検挙しました。

(千歳署、白石署、捜査第二課)

《事例2》余市町まちづくり計画課長らによる公共工事をめぐる贈収賄事件

余市町教育委員会が所管する建物の解体工事に関し、同町まちづくり計画課長は、事業費の見積を特定の建設会社に算出させ、同社を受注競争上有利な立場とし、その謝礼として、令和2年12月下旬頃から令和5年8月中旬頃までの間、6回にわたり、同社代表取締役から額面合計40万円相当の商品券を受け取った事実を特定したため、同課長及び建設会社の代表を贈収賄の事実で検挙しました。

(小樽署、余市署、捜査第二課)

4 鑑識活動、科学捜査活動

(1) 現場鑑識活動

現場鑑識活動は、犯罪現場等において犯行の状況を明らかにして証拠を保全する活動です。

現場鑑識活動では、現場状況を保全したり、指紋や足跡等を発見、収集するとともに、各種資料に科学的・合理的検討を加えて必要な情報を得るなどの活動を行います。



【鑑識活動】

(2) 機動鑑識班の活動

機動鑑識班（係）は、警察本部鑑識課、方面本部鑑識課に置かれ、重要犯罪、重要窃盗犯等の様々な事件を対象に、道内全域にわたり機動力と専門的知識・技能を生かした鑑識活動を行っています。

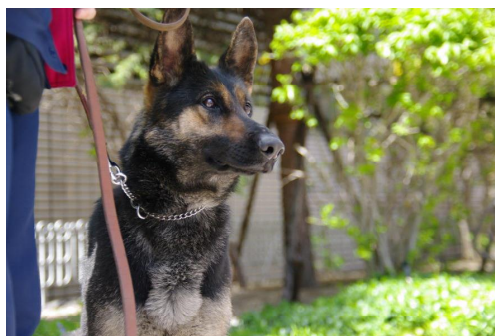
また、現場鑑識活動の強化を図るため、大規模警察署にも機動鑑識係が置かれ、日夜発生する事件、事故現場にいち早く出動しています。

(3) 警察犬の活動

警察犬は嗅覚力が人間の3,000倍から1億倍といわれており、犯罪現場に残されているであろう「犯人の臭い」から逃走経路を追跡して犯人を発見するなど、「鼻の捜査官」として活動しています。

そのほか、行方不明者や災害被災者の捜索等の様々な警察活動において活躍しています。

令和5年末現在、北海道警察が直接飼育管理しながら訓練している犯罪捜査犬6頭と、北海道警察が実施する審査会に合格し、各種警察活動を囑託している民間飼育の囑託警察犬39頭があり、事件捜査や行方不明者の捜索等で活躍しています。

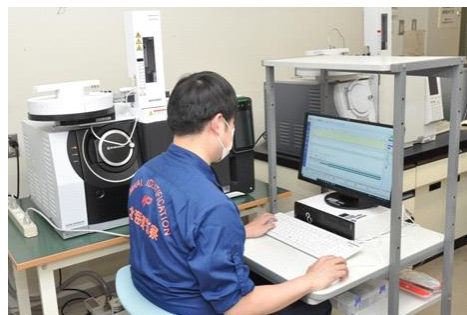


【警察犬の活動】

(4) 科学捜査研究所の活動

凶悪犯罪を始めとする様々な事件・事故等を科学的に解明するための鑑定や検査を行うとともに、鑑定の高度化を目指した研究を行っています。

検査スタッフは、警察本部の科学捜査研究所のほか、函館、旭川、釧路、北見の各方面本部にも科学捜査研究室が置かれ、全スタッフがそれぞれの分野のエキスパートとして鑑定、研究に励んでいます。



【薬物鑑定】

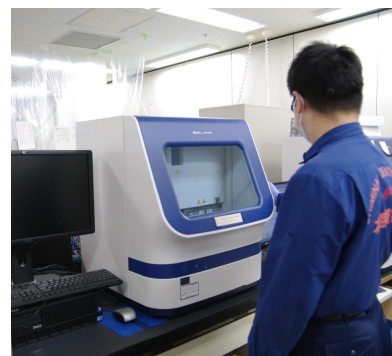
科学捜査研究所で実施する鑑定業務

- 犯罪現場に残された血痕等から個人を識別するためのDNA型鑑定
- 発見された塗膜片、ガラス片、繊維片等の鑑定からの犯行の立証
- 覚醒剤・麻薬等の薬物鑑定
- 変死事案等における死因究明のための医薬品・毒物の鑑定
- 火災・爆発事故や交通事故等の原因究明のための鑑定
- 筆跡鑑定
- ポリグラフ検査
- 銃器鑑定
- 通貨の偽造鑑定

(5) 鑑定の高度化

現在、警察本部で行っているDNA型鑑定の精度は、最もありふれたDNA型の組合せの場合でも約565京人に1人となり、極めて高い精度で個人識別することが可能となっています。

また、科学捜査研究所では各種高性能鑑定機材の整備に努めており、科学捜査力の強化が図られています。



【DNA型鑑定】

各種高性能鑑定機材の整備

- 犯罪に使用された薬物・毒物等を鑑定する高度分析装置
- 防犯カメラに映った顔画像の異同識別に使用する3次元顔画像識別装置
- 音声の異同識別に使用する音声自動識別装置